

「三年間の感謝」 利尻町立利尻中学校3年 鎌田 美華

3年間私は3年A組の13人と生活してきた。いつもクラスの中では「ありがとう」や「ごめん」という声がよく聞こえてくる。保育所、小学校、中学校をほぼ15年間共に生活してきて、どれだけお互いをわかっていて、仲が良くても、それをお互いに言い合えるのはすごいことだと思う。そしてそれぞれの好きなもの、趣味、得意・不得意を知っていて、だれがどういう人かも知っているのも、学校祭の時には、ダンスが得意な人がダンスを教え、構成を考えるほうが得意な人が構成を考えるなど、それぞれの得意な分野で動くことができ、全員が自分の力を発揮することができた。勉強面では、授業中、早く終わった人が、困っている人に声をかけたり、わからない人が自分から「教えて」と声をかけたりしながら助け合っている。ほかにもいろいろなところで私はみんなに助けられていると感じる。

私は去年の後期学級の副級長を務めた。後期には学校祭があり、ちゃんと進め、まとめることができるかなど、とても不安があった。しかし、学校祭期間が始まると、「ここはこうしたほうがよくなると思う」や「ここめっちゃいいよ」など、みんながアドバイスをくれて初めにあった不安はどんどんなくなっていった。撮影やダンスの練習でも、だめだったところや換えたほうがいいところなどを、みんなと話し合いながら全員でいいものを作ろうと頑張ることができた。学校祭期間は楽しくてあっという間に過ぎた2週間だった。今年の学校祭では、1年生や2年生の時よりも練習時間が短く、完成できるか不安だったが、去年の経験を活かしながら全員で話し合い、スムーズに決めることができた。今年は学級委員ではなかったが、ダンスを教え、アドバイスを出すなど自分のできることをすることができた。学校祭期間だけでもたくさんの思い出や感謝が出てくる。学校祭だけでなく、ほかの行事や日常生活でも同じことが言える。

そんなみんなと離れるのはさみしいが、あっという間に卒業まで残り5か月になってしまった。これからは高校入学に向けて勉強が大変になるが、全員で助け合いながら頑張りたいと思う。4月からは15年間一緒だったみんなと離れ、それぞれの場所で新しい生活になるが、離れても、大人になってからもこの関係が変わらないと思う。残りの5か月を全力で楽しみ、たくさんの思い出を作りたい。

そして本当にこの3年A組の13人でよかったと思う。